

## 「右脳で描く！クレパス画」

人間の左脳は言語的、理論的な働きをしているのに対して、右脳は非言語的、直感的な働きをしているといわれています。右脳を使うことで自分らしく生き生きとした表現ができることでしょうか。しかし、私たちが描いている絵は、どちらの脳を働かせて描いているのでしょうか？図工・美術の授業では、右脳を使って絵を描くことができているのでしょうか？

今回の講座では、「右脳で描く絵」と「左脳で描く絵」の違いを把握することから始まり、右脳を働かせて触覚や嗅覚といった諸感を刺激し、感じることによって豊かな表現活動ができることを体験します。普段当たり前のように使っているクレパスも適切に使うことで、さらに表現の幅が広がります。授業を受ける子供たちも先生方も、絵を描くのがもっと楽しくなることでしょうか！是非お気軽にご参加ください。

■日時： 2020年3月27日（金）13:00-15:30（12:45受付開始）

■場所： 埼玉県立近代美術館 3階 創作室

■対象： 教員及び図工・美術教育関係者

■定員： 30名

■テーマ： 「右脳でかく！クレパス画」

■講師： 代 淳子 氏（鴻巣市立吹上中学校 教諭）

- 内容：
- クレパスの使い方
  - 「右脳で描く絵」と「左脳で描く絵」の違い
  - 右脳で描く「量感画」
  - 出来た作品の発表及び鑑賞会
  - 実践例紹介

■参加費： 無料

■持ち物： 活動しやすい服装（クレヨンで汚れる可能性があります。）

■申込み： 下記申込欄にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

■お問い合わせ： 埼玉県立近代美術館 教育・広報担当

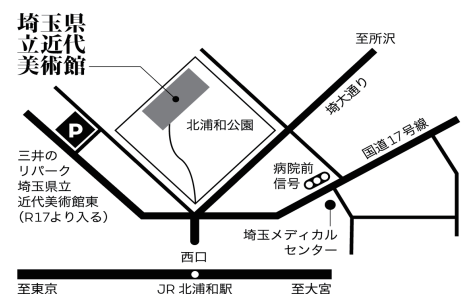
TEL：048-824-0110

### 第2回教員美術講座 申し込み用紙

※3月18日（水）締め切り

氏名
所属
連絡先

※春休みに連絡がつく番号をお願いします。



※美術館の駐車場がございません。公共交通機関が最寄りの駐車場をご利用ください。

申し込み先FAX：048-824-0118